

令和3年度 自己評価書

真庭市立中和保育園

1. 中和保育園の教育保育目標

- 豊かな心を持ちいきいきと遊ぶ子ども
 - ・友達と仲良く遊べる子ども
 - ・ルールを守って生活できる子ども
 - ・挨拶、返事のできる子ども

2. 本年度の重点目標

- 子どもの主体的な活動や友達との関わりを大切にしながら、様々な体験活動を通して豊かな感性、表現力、創造性を育む。
- 子どもの体力の基礎づくりに必要な人的及び物的環境を整える。
- 地域に根ざした保育園となるよう、保護者及び地域との連携を図る。
- 職員の資質向上と保育環境の整備を行う。

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価
教育課程・指導計画	指導計画は、それぞれの年齢の実態を踏まえ、園や地域の特色を活かしている。	3
行事	季節を感じる行事を大切に計画、子ども達の成長に合わせた内容となるよう工夫する。	3
組織・運営	職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力して園の運営に関わっている。	3
学級経営	担任は各年齢の乳幼児の実態に即して運営している。	3
特別支援教育	手立を必要とする子どもには、園で出来る対応を行っている。	3
安全管理・保健指導	毎月安全点検を実施。園外遊具においては念入りに行う。避難訓練、交通指導の実施、園児の体調や感染症の流行状態に気を配り対応をする。	4
研修（資質向上）	コロナ禍で研修会も激減するが、それを保育に生かそうと努力はみられた。	2
情報提供・保護者・地域との連携	各種便りや行事の様子を発信する。また、地域の方との関わりを大切にしている。	3
小学校との接続・連携	小学校との接続を意識し交流を行う。入学に向けて期待できるよう連携していく。	3
子育て支援	保護者との信頼関係を深め、子どもの育ちを家庭と連携して支援できるように努めた。	3
食育の推進（給食）	食物アレルギーに対しては、日々気を配りながら提供した。	4
食事の提供（調理）	安心・安全な給食提供に心がけた調理提供に努めた。	3

4. その他必要な評価

評価指標	考 察	園総合評価
その他 1		

その他2		
------	--	--

5. 本年度の重点目標及び総合的な評価結果の考察等

- ・指導計画の立案も、振り返りを大切に考えそれぞれの実態に即した臨機応変の保育が出来ている。異年齢児のクラスなので職員間で話し合い、活動を妨げないよう共通理解に努めている。
- ・コロナ禍のなか、各種研修が中止・延期になり研修の場が減少したが、ズームなどで研修も行われ近場で受講出来たのはよかった。
- ・園行事がまん延防止で中止となるなか、コロナ対策を行いながら少ない回数だが行うことができた。保護者アンケートの記入、園評価を受けることで保護者の園に対する理解度などがわかり、丁寧な説明が必要と感じた。
- ・小学校接続では、交流の機会を調整して頂き、良い関係を持つことができた。また、みどり坂を介しての交流も楽しく行えた。

6. 評価結果を受けての具体的改善方策等

- ・保育のねらいから、事前に情報収集を行い環境を整え活動を進めるなどの工夫し、職員間での連携をとるようにしていく。
- ・研修の方法もコロナ禍により変化してきているので、時代に応じた対応を柔軟に取り入れていく。また、職員の資質向上となるような園内研修の持ち方の工夫をする。
- ・保護者の意見を聞く機会を設けたり、地域の中での育ちを伝えられるような関係づくりを大切にしていく。
- ・小学校との接続交流では、打ち合わせ時に双方の活動を取り入れ、主となる場面を持つようにする。また、子ども達だけでなく職員同士の交流も考えて行きたい。

(保護者アンケートの結果や園内職員で改善策を話し合ったことなど織り込んで記入する)

園評価基準

評価	基準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である

